



7/15 みんな大きな掛け声で 八坂神社「祇園さん祭り」

昨年10年ぶりに「みこし」が繰り出した八坂神社の「祇園さん祭り」が、梅雨明け後の暑い日差しの中、にぎやかに行われました。

同祭りは一関一、中松一、中松二区の若手住民で構成する実行委員会が、祭りのかつてのにぎわいを取り戻そうと、昨年に引き続き実行委員体制で開催。

祭りでは、神楽の奉納後、2基の子ども「みこし」が境内を駆け回り、大きな声援を受けていました。

大人「みこし」2基は、600mほど離れた御旅所を往復し、終わりに神社の境内を力強く走り回りました。



境内を駆け回る子ども神輿

7/14 職場対抗ソフトボール大会開催 「郷電設」初出場で優勝

南阿蘇村ソフトボール協会主催（川崎哲志会長）の「第9回南阿蘇村職場対抗ソフトボール大会」が、白水運動公園と長陽グラウンドで開催されました。

大会参加チームは9チーム。決勝戦では郷電設チームと黒川チームが対戦し、7対3で郷電設が初出場で優勝を飾りました。

各試合、熱戦繰り上げられる中、好プレーや珍プレーもあり、にぎやかな大会となりました。

大会結果は次のとおりです。

〈優勝〉郷電設・〈準優勝〉黒川・〈第3位〉レッドブルズ



優勝した郷電設チームの皆さん

7/17 活力ある学校教育を目指して 村教育特区学校審議会委員委嘱状交付

南阿蘇村教育特区学校審議会委員の委嘱状交付が久木野庁舎で行われ、藤岡孝輔教育長、荒牧俊一村議会議長、学校教育指導員の市原邦幸さん、第五駐在の藤崎英廣さん、第六駐在の荒牧幸吉さん、第二駐在の田所隆夫さんの6人が任命されました。任期は2年。

教育特区とは、構造改革の一環で、特色ある教育の実施や、仕組みづくりをすることで地域の活性化につなげていくことが目的。

委員の職務は、私立学校に関する設置や廃止、学校運営に関する事項など、村長からの諮問に応じ審議を行います。



教育特区学校審議会委員に任命された皆さん

7/16 九州北部豪雨災害に学ぶ 長陽中学校で防災学習

昨年7月12日に発生した九州北部豪雨災害から1年を迎え、長陽中学校（田邊鶴芳校長）の全校生徒105人が防災について学びました。

学習会では、熊本地方気象台職員が雨雲の動きなど気象に関する説明をし、役場防災担当者は、九州北部豪雨災害時の雨量や消防団などの救出活動の状況、災害発生時の心得などを映像を交えながら説明しました。

学習会を終えて体育・安全委員長の後藤海斗さん（3年生）は、「学習会を通して自分の命は自分で守ること、自助・共助・公助の大切さがわかりました」とお礼の言葉を述べました。



生徒の発表を交えながら進められた学習会

7/23 100歳おめでとうございます 有馬カネヲさん（喜多）

7月28日で100歳を迎えられた有馬カネヲさん（喜多）のお祝いが、特別養護老人ホーム陽ノ丘荘で行われ、長野村長から表彰状と記念品が手渡されました。

有馬さんは大正2年7月28日生まれ。若いころには修業のため毎日バケツ20杯の水をかぶり、日々みんなの幸せを祈られていたそうです。

100歳を迎えた喜びを有馬さんは、「どなたもありがとうございます。生きている間は元気でいます。皆さんどうぞ長生きしてください」と元気な声であいさつされました。



100歳を迎えられた有馬カネヲさんと親族の大塚るい子さん（喜多）

7/21 白川水源駅開業一周年 南阿蘇 ENSEN マルシェ祭開催

高森から立野駅間を結ぶ南阿蘇鉄道の「南阿蘇白川水源駅」が開業一周年を迎え、その記念イベント「南阿蘇 ENSEN マルシェ祭」が同駅前広場で開催されました。

当日は、村内外から約2,000人が来場。同駅で下車した先着300人に白川区婦人部による「ちまき」の振る舞いが行われました。会場ではミニコンサートやカラオケ大会、雑貨や手作りお菓子など13店舗が立ち並び、その他、親子で竹馬作り体験も行われました。ヤマメのつかみ取りでは、子どもたちが真剣な表情でヤマメを追う姿も見られ会場は賑わいを見せていました。



ヤマメのつかみ取りで賑わう祭り会場

7/25 8/6 クリス先生お元気で ALTニモ・クリストファー・ジョン先生退任

外国語指導助手（ALT）として本村中学校で指導をされていたニモ・クリストファー・ジョン先生（クリス先生）が、5年間の任期を終え、7月25日、別れのあいさつに久木野庁舎を訪れました。

クリス先生は、平成20年7月にスコットランドから来村。村内3つの中学校で英語の指導をはじめ、部活動（テニス）の指導や学校行事にも参加し生徒たちとの交流を深められてきました。

任期を終え帰郷されるクリス先生は「思い出がたくさんで寂しいです。ありがとうございました」と笑顔で別れのあいさつをされました。



スコットランドに帰郷されるニモ・クリストファー・ジョン先生

エミリー先生よろしくお祈いします 外国語指導助手のエミリー先生来村

8月2日からはクリス先生に替わり、テイラー・エミリー・イレイン先生が来村。その委嘱状交付が8月6日、久木野庁舎で行われました。

エミリー先生は、アメリカ出身。天草市倉岳町で3年間指導されていました。

交付式では長野村長が「南阿蘇村は多くの方が訪れる観光地です。早く村に親しんで欲しい」とあいさつ。

エミリー先生は、「新しい環境で、緊張していますが、南阿蘇村の皆さんはとても優しくしてくれるので頑張りたい」と笑顔であいさつをされました。



新しく赴任されたテイラー・エミリー・イレイン先生



8/1 新区長に委嘱状

佐藤喜久雄さん（第三駐在）

第三駐在区長の変更に伴う委嘱状交付式が久木野庁舎で行われ、同駐在の佐藤喜久雄さんに区長および環境保全監視員の委嘱状が市原副村長から手渡されました。

任期は7月29日から平成27年3月31日まで。南阿蘇村が主催する行事などの参加や地区住民を代表しての申請、地区住民との連絡調整、村が送付する文書の配付などの職務に当たられます。

就任にあたり佐藤さんは、「古きよき時代には、当然のことであった“^{もやい}催合”の精神でもって、三駐在区のバランスある発展のために努めてまいりたいと思います」と抱負を話されました。



第三駐在区長に任命された佐藤喜久雄さん

7/28 自転車愛好家 阿蘇の峠を力走

第15回サイクルマラソン開催

県サイクリング協会が主催する「第15回サイクルマラソン」がアスペクタをスタートに阿蘇郡市一円で開催され、自転車愛好家約900人が参加しました。

同大会は、阿蘇山頂・箱石峠・地藏峠・依山峠を通過する120キロコースと、阿蘇山頂・箱石峠を通過する71キロコースの2コースが設置。参加者たちは雨が降る中、完走率7割の難コースに挑みました。

開会式では、安全宣言で西元豊さん（下野）が「阿蘇の早期復興を祈りながら、ルールを守り、阿蘇の風を感じて走りたいと思います」と力強く安全宣言をしました。



軽快にスタートを切った参加者たち

8/3・4 えほんの世界へ

南阿蘇えほんのくに誕生祭

南阿蘇えほんのくに誕生祭「第3回笑顔をとどけるブルービーフェスタ」（南阿蘇えほんのくに運営委員会主催）が、高森町を含む南阿蘇一帯で今年も開催されました。

3日は、南阿蘇鉄道の立野駅から高森駅間を「えほん列車」が走りました。途中の中松駅では、忍者に扮した子どもたちが列車内を駆け回り魔女を退治する場面もあり、列車内は不思議な世界に包まれていました。

4日には、「えほんのくにコンサート」がホテルグリーンピア南阿蘇で行われ、ピアニスト西村由紀恵さんと共演した「大阿蘇名水子ども太鼓」の熱演が、会場を盛り上げました。



多くの人が乗車した「えほん列車」

8/3 地元開催で大健闘

第9回南阿蘇名水旗剣道大会開催

「第9回南阿蘇名水旗剣道大会」が白水小・中体育館で開催され、県内外から113チームが出場しました。

大会では、田上實徳大会会長が「練習の成果を一試合一試合、正々堂々と発揮し、皆のトップに立つよう頑張してほしい」とあいさつ。

中学女子の決勝戦では、白水中と長陽中が対戦。応援者が見守る中、白熱した戦いが繰り広げられました。

村内出場校の大会結果は次のとおりです。

〈中学男子〉優勝 白水中

〈中学女子〉優勝 白水中・準優勝 長陽中



白水中女子（左）と長陽中女子（右）の決勝戦

8/5 友だちたくさん作ったよ 新上五島町と合同育成キャンプ

8月5日から7日にかけて、河陰地区のオートキャンプ場「ピラマイルド」で、姉妹提携を結んでいる新上五島町と村内小中学生の合同キャンプが行われました。

キャンプには、本村の小学4年生から6年生56人と、新上五島町からは、小学5年生から中学1年生の22人が参加。

初日、入村式を終え活動班に分かれた子どもたちは、箸作り挑戦したり、夕食のカレー作りでは、野菜を切ったり、薪を使ってご飯を炊いたり協力し合う姿が見られました。2日目は、アスペクタを目指してハイキング。炎天下の中汗を流しながらも、新しい友だちと笑顔で歩くたくましい姿が見られました。



2泊3日のキャンプを楽しんだ子どもたち

8/4 村消防団女性分団初出場 第3回熊本県女性消防操法大会

第3回熊本県女性消防操法大会が、菊池市総合体育館駐車場で開催され、本村消防団女性分団が初出場しました。

大会には、県内から14市町村15チームが出場。競技は、軽可搬小型ポンプから3本のホースを延長し、2個のボールに目掛けて放水。ボールを落とすまでの時間と規律の美しさを競うものです。

同分団は、5月中旬から約1時間半、阿蘇広域消防本部南部分署と、村消防団幹部の協力を得て、仕事や家事の合間に練習に励んできました。

競技が終了すると、選手たちからは安堵と喜びの涙が頬を伝っていました。



大会に出場した選手の皆さん

8/11 差し押さえた動産を公売 阿蘇管内7市町村合同公売会

本年度、第1回目の阿蘇管内合同公売会が西原村民体育館で行われました。

公売会では、滞納者宅から差し押さえた家電・日用品など169品が出品。190,496円分が落札されました。落札金額は、出品した市町村で滞納となっている市町村税に充てられます。

今後、県と阿蘇管内市町村では、納期内納税者との公平性を図るため滞納者宅の搜索や動産の差し押さえなどを行い、滞納整理を進めていきます。



多くの人が来場した公売会場

8/6 避難所に特設公衆電話設置 災害時における特設公衆電話の設置・利用に関する協定書調印式

避難所開設時に、速やかに通信手段の確保ができることを目的に、村とNTT西日本熊本支店が、特設公衆電話回線の設置と利用に関する協定を締結しました。県内では初めての取り組み。

調印式では、長野村長が「2名の尊い命が奪われた九州北部豪雨災害では、多くの住民が長い期間避難されました。今回このような提案をいただき大変感謝しています」と、あいさつしました。

今回設置されたのは、村内収容避難所など11カ所に12回線で、無料で発信のみの利用ができます。開設時は、村から固定電話を設置しての利用となります。



締結したNTT西日本熊本支店の上山支店長と長野村長